

その他の建築工事業における崩壊・倒壊災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	仮設足場に取り付けてある転落飛散防止ネットに、突発的な強風を受けた。強風が仮設足場と壁面の間に入り込み、風圧をモロに受け、支えきれずに仮設足場西面より倒壊が始まった。	55	1~9
1	13~14	リフォーム解体工事にて、平屋のはなれ別邸を解体作業中に、屋根を壊して片側1枚の壁を解体した際、室内にて掃除をしていたところ、急に残りの壁3枚が倒れてきて、はさまれ頭部等に重傷を負った。	47	1~9
2	11~12	被災場所1階の焼肉店の改装工事現場において、コンクリート砕りガラの収集作業を行っていた。作業前に再利用する間仕切りパーティション（1800mm×1400mm×80mmのガラス製）の安定度合を左右にゆすり確認を行った後、作業を行っていたが、突然、後方から覆い被さり、下敷きになり被災してしまった。覆い被さって来たガラス製パーティションは、重量200~300kgと思われる。下敷きになった結果、腰椎部分の骨折と肋骨を骨折し全治3ヶ月になるものと思われる。パーティションの固定が甘かった為に倒れたと思われる。	33	—
2	11~12	GH改修工事のA棟3階廊下で、カーペット撤去後の床に付着していた接着剤のケレン作業で壁に立て掛けて仮置きされていたパーティクルボード（1800×600×20、約15kg）4枚をずらして横移動しようとしたところパーティクルボードが倒れ、右大腿部の膝上に角が当たり挫創した。	62	1~9
2	11~12	お客様敷地内でカーポート工事中に骨組みをして部品を取り付けしていたところ、強風が吹き骨組が倒れてきた。その際に倒れてきた骨組みが脚立を巻き込みその脚立の下敷きになった。	29	1~9

3	13~14	資材置場にて足場材を積み上げて片付けていたところ、積み上げていたものが崩れてきて右手小指を挟んだ。	42	~ 29	10
3	13~14	現場の柱が倒れ、手で受けようとした際に手の甲と接触する。	27	~ 9	1
3	13~14	ブロック塀外構の縁切り解体工事にて、重機を併用しての解体作業中、道路と面した所に高架線があり、重機が引っ掛かり、垂れ下がったのを解体中のブロック塀の上に乗れ、垂れているのを戻そうとした際、乗っていたブロック塀がぐらつき転倒した。その時に倒れて残っていたブロック塀の角に頭を打ち付け、着用していたヘルメットがずれ、耳の上の頭部を打ち負傷した。	38	~ 29	10
5	9~ 10	当社場内作業場において足場材（3.8mの支柱）の整理作業中、積んでいた足場材にストッパーを掛けずにいた為足場材が崩れ落ち、左足を挟み負傷した。	17	~ 29	10
5	11~ 12	建物解体作業中にブロック塀に括り付けられていた竹の塀の番線をカッターで切る作業を行っていた際、竹の塀が覆い被さってきた。バランスを崩して転倒した際にコンクリートの基礎部分に脇腹を強打した。	58	~ 9	1
5	11~ 12	個人宅において、外壁及び雨樋工事中、解体した単管足場を積み重ねていたところ崩れ（長さ約3m、重さ5~6kg）、左足の上に落ちて左足小指を骨折した。	22	~ 9	1
5	10~ 11	倉庫の壁を直すのに足場を組んでいた時、鋼管が倒れて落ちてきて、手骨にひびが入った。	69	~ 9	1
5	9~ 10	当日運搬予定の荷物（鉄骨）の積荷確認作業中、積荷がずれて指を挟まれた。	46	~ 29	10
	14~	トラックに機材を積み込み作業中に突然、横に置いてあった鋼材（長さ3m）が倒れ			1

6	15	てきて、逃げきれず右腕を打撲し負傷する。	67	～ 9
6	3～4	自社資材置場で、ピケ材の柱（長さ約3.8m、重さ約15kg）の片付け作業中、1本ピケ材の柱を壁に立て掛けていたが、不安定だったせいか、柱が倒れてきた。咄嗟に左手で受け止めたが支えきれず、地面に置いていた鉄かごの縁と柱のコマの部分とで指が板挟みになり、負傷した。	33	1 ～ 9
7	19～20	会社の置場でトラックに足場の積み込み作業をしている時に、足場のパイプのバランスが崩れてしまい約40本の足場が全身にぶつかり、全身を負傷してしまった。	17	1 ～ 9
7	9～10	1階高床部にてRC柱補修工事で作業を行う柱の前に区画されて台車に載った設備冷媒ラック材があり、作業の支障になるため被災者自身で台車を押して移動しようとした。少し荷が崩れてしまったので資材を自分で直し、今度は引っ張って移動を試みた際、荷が自分の方へ崩れ、5.4kgの冷媒ラック4～5枚が被災者の左足の上に崩れ落ちて負傷した。	44	1 ～ 9
7	16～17	事業場屋外においてベニヤ板（1.82m×0.9m×5.5mm）を従業員2名にて複数枚ずつ移動作業中、移動先より当該ベニヤ板十数枚が滑り落ち、通りかかった負傷者の足に当たり、反対側に置いてある資材（通柱）に倒れ受傷した。	77	10 ～ 29
7	8～9	解体現場において、階段下で建物を解体してできた廃材を集める作業をしている時、階段下部に廃材が触り、階段がぐらつき倒れてき、作業員の体全体に階段が覆い被さり、仰向けに頭から倒れて、背骨と腰骨が数ヶ所折れた。	69	10 ～ 29
7	15～ 16	立てかけてあった鉄板の塗装をする際に、とめてあった受け台を外して作業しようとしたとき、自分の方に倒れてきた鉄板（200kg～300kg）の下敷きになり、顔面を打ち負傷した。	26	1 ～ 9
7	10～ 11	当社置き場において、まくら木の片付け作業中、積み重なっていたまくら木が崩れ、左肩に激突し負傷した。	19	30 ～ 49
		ジェニーリフトにて枠組トラスを施工している最中に、安全装置のセットが不十分		10

7	8~9	であったためにジェニーリフトのバランスが崩れ、転倒しかけたので慌てて左手で止めようとしたが、そのままジェニーリフトが床に倒れ、左手中指付根が挟まれてしまった。	23	~ 29
7	14~ 15	当社が請負う解体工事現場内において、下請負会社の従業員が、工場の撤去のための解体作業をしていた。ユンボのアタッチメント（小割機）を取り替えようとしたところ、誤ってユンボのバケットが、交換用として近くに置いておいたアタッチメント（2t、幅60cm、高さ150cm）に接触してしまい、交換用アタッチメントが倒れ、壁とアタッチメントに挟まれてしまった。その際に胸を打ち、小指を挟んでしまい負傷した。	50	1 ~ 9
7	7~8	当社資材置き場で、足場部材を積んだトラックのバタを開いたときに荷崩れし、左手拇指・示指の間を部材と荷台の床に挟まれ、打撲した。	19	10 ~ 29
9	15~ 16	弊社の資材置場にて、足場材を片付け作業中、立てかけてあった足場材（鉄）がたおれ、右足にぶつかり転倒し、腰及び右足を強打したものである。	43	1 ~ 9
9	16~ 17	家の解体中に建物を上に上げて引っぱり、柱がはずれて倒れてきた、柱でケガをした。	59	10 ~ 29
9	9~ 10	中学校便所改修工事の現場である1階の工事エリアにおいて停電が発生したためブレーカーを復旧しようとしたところ、分電盤の扉にフレキシブルボードが40枚ほど立て掛けてあったため開閉できない状況だったので、ボードを仮設間仕切りに立て掛け人力で支えながら扉を開けようとしたところ支えきれず、当該作業員の右足に倒れ地面との間に挟み負傷したものである。	36	1 ~ 9
10	15~ 16	ブロック塀を切り離し撤去作業中にブロック塀が倒れ、気付くのが遅れ左足を負傷した。	52	10 ~ 29
		木造瓦家の解体現場にて散水作業中に2階部分の土塀が崩落したことにより被災。しかし本人は崩れ落ちた土塀から少し離れた所に倒れており、被災の瞬間を見た者		

10	16～ 17	がない上に、本人にも土塀の崩落を確認し逃げる体勢を取ったところまでしか記憶がないため、直接の負傷原因は不明である。（土塀に直接あたっているのか、逃げる際に転倒して頭部を強打したのか等が考えられるが詳細はわからない。）尚、土塀の崩落原因については重機算の振動によるものと思われる。	51	1 ～ 9
11	10～ 11	置場で足場材を積み込み時、荷が崩れ足が挟まり左足を骨折した。	27	1 ～ 9
11	9～ 10	被災者は、第1北スタンド棟3階の男性用トイレにて壁の解体作業をしていた。掘削機で壁の下に切れ目を入れ奥に倒そうとしたところ壁（幅1.2m、高さ1.6m、厚さ20cm、重さ約300kg）が手前に倒れて来て負傷したものである。（下敷きとなった）	43	1 ～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)